

科目名称：	保育内容「表現B」の指導法	
担当者名：	水上 和子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
子どもと適切に関わり音楽表現活動を展開するためには、保育者自身も豊かな感性や表現力を養うことが大切である。そのために必要な音楽の基礎知識や、表現を支える方法の修得と実践力の向上を目指す。		
授業の達成目標・到達目標		
子どもと音楽表現活動をする時には、興味や関心を持たせる工夫をすること、学生自身が音楽を楽しんでいると感じることを学ぶ。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			70	30	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 附属西南幼稚園園長 代理	《経験年数1》 3年
	《内容2》 附属西南幼稚園園長	《経験年数2》 3年
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
学習意欲と探求心	意欲的、自発的でありとても熱心である。	指導をうけた事を吸収しようとする。	アドバイスをすると前向きにとらえる事ができる。	欠席をしないようにし、受講態度の改善を必要とする。
音楽表現を理解する能力や技能の習得	保育現場で必要とされる知識や技能を高め、即実践できる力量がみられる。	保育現場で必要とされる知識や技能を高める努力がみられる。	やや積極的である。	積極的になるように努力を要する。
領域「表現」についての知識と理解	講義や演習の内容を、とても良く理解できている。	講義や演習の内容を自分なりに理解している。	講義や演習の内容をおよそ理解している。	講義や演習の内容の理解が得られていない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 授業の目的と内容や進め方について・領域「表現」について	保育指針や幼稚園教育要領における感性と表現について復習してくること。	30分
第2回 音楽表現活動について(発達段階に応じて)	5つの音楽表現活動を調べること。	30分
第3回 歌う活動を中心とした表現活動の意義と実践①(手遊び・歌遊びを中心に)	手遊びの曲を練習してくること。	30分
第4回 歌歌う活動を中心とした表現活動の意義と実践②(伴奏法を中心に)	弾き歌い曲のピアノ伴奏を練習してくること。	30分
第5回 手遊び・歌遊びの実践(グループワーク)	手遊び実践の課題プリントをまとめてくること。	30分
第6回 わらべ歌遊びの意義と実践①	分類と特徴を調べること。	30分
第7回 わらべ歌遊びの意義と実践②	2音旋律、3音旋律を調べること。	30分
第8回 リトミック的活動の意義と実践①	ピアノ曲 マーチ、ラン、スキップの曲を練習すること。	30分
第9回 リトミック的活動の意義と実践②	歌遊びに使う曲を練習すること。	60分
第10回 リトミック的活動の意義と実践③	リズム遊びに使う曲を練習すること。	60分
第11回 歌う活動、動く活動、創作活動の実践	きのこの曲の振り付けを考えること。	60分
第12回 簡易楽器による演奏活動の意義と実践	楽器あそびの曲を調べること。	30分
第13回 歌う活動(歌唱指導)に向けて教材製作①	歌う活動に使う教材製作の準備。	30分
第14回 歌う活動(歌唱指導)に向けて教材製作②	歌う活動に使う教材製作の準備。	30分
第15回 歌う活動(歌唱指導)の実践と音楽表現のまとめ	歌う活動の曲を練習すること。	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位習得のためには原則として、授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、課題曲の練習や課題プリント、小レポートをまとめる事になる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
 課題評価(70%)、準備学習[弾き歌い伴奏練習](10%)、授業への積極的関与(20%)

課題に対してのフィードバック

授業内プリントは自己評価をした後提出し、学習成果をコメントシートでフィードバックする。また、小レポートについても学習コメントシートでフィードバックする。

教科書・参考書

テキスト「表現者を育てるための保育内容『音楽表現』」(石井玲子 編著、教育情報出版) 器楽I・IIテキスト(テキストは毎回の授業で使用する)
 参考書・参考資料等
 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」適宜資料を配付